



令和2年度 産業保健研修会について

産業保健スタッフ(産業医・保健師・看護師・衛生管理等)のみならず、労働者・事業主或いは、産業保健に関して興味をお持ちの多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

認定産業医生涯研修単位について、現在日本医師会に単位認定申請中です。

令和2年度産業保健研修会(詳細・お申込み)

<https://www.kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml#20180704004444>

※お申込みの受付期間がありますので、ご注意ください。

研修参加時には新型コロナウイルス感染予防対策のため、必ず留意事項をお読みください。

※研修会ご参加時の留意事項について

<https://kumamotos.johas.go.jp/documents/caution.pdf>

<<■■■■■9月の予定■■■■■>>

日 時: 9月11日(金) 14:00~16:00

研修テーマ: 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援対策

講師: 岡田修治

日 時: 9月14日(月) 14:00~16:00【定員に達しております】

研修テーマ: 交流分析を活用したメンタルヘルスケア【産医単位: 専門2】

講師: 森田裕子

日 時: 9月15日(火) 14:00~16:00

研修テーマ: 労働衛生行政の動向等について

講師: 熊本労働局健康安全課 労働衛生専門官

日 時: 9月17日(木) 14:00~16:00【定員に達しております】

研修テーマ: 「リスクアセスメント」を活用しよう【産医単位: 専門2】

講師: 石原徳一

日 時: 9月18日(金) 18:30~21:00【阿蘇地域開催】

研修テーマ: 動機づけ面接方法を学ぼう【産医単位: 実地2.5】

講師: 倉本剛史

日 時: 9月25日(金) 14:00~16:00

研修テーマ: 喫煙による健康影響と禁煙支援について

講師: 大森久光

日 時: 9月28日(月) 14:00~16:00

研修テーマ: ストレスチェック制度の取り組み方(導入編)

(人事労務担当者、衛生管理者等)

講師: 宮崎博喜

<<■■■■■10月の予定■■■■■>>

日 時: 10月11日(金) 14:00~16:00

研修テーマ:農作業の安全・健康を考える ー農作業に起因する
アレルギー疾患の発生とその予防ー【産医単位:専門2】
講師:上田厚

近県の産業保健総合支援センターでも開催しておりますのでご利用ください。

- ・福岡産業保健総合支援センター
<http://www.fukuokas.johas.go.jp/seminar.html>
- ・佐賀産業保健総合支援センター
<https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/21/>
- ・大分産業保健総合支援センター
<http://www.oitas.johas.go.jp/>
- ・長崎産業保健総合支援センター
<https://www.nagasaki.johas.go.jp/seminar/>
- ・宮崎産業保健総合支援センター
<https://www.miyazakis.johas.go.jp/infotrain/>
- ・鹿児島産業保健総合支援センター
https://kagoshimas.johas.go.jp/information/information_category/seminor



熊本産業保健総合支援センターから『産業保健に関する質問募集』のお知らせ！

会社の衛生管理の担当者に選任されたが、衛生管理活動をどう進めたらいいか、社内でメンタルヘルス対策を進めたいがどう対応したらいいのかわからない等といったことでお悩みではありませんか。

当センターでは、メンタルヘルスや健康管理など産業保健に関する様々な問題について、専門スタッフが相談に応じ、解決方法を助言します。今お悩みのこと、疑問に思っていることがありましたら以下のいずれかの方法でご相談下さい。相談はすべて無料です。相談により知り得た情報等は保秘します。

- ・ホームページ:<https://www.kumamotos.johas.go.jp/FormMail/soudan/index.php>
- ・メール:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp
- ・FAX:096-359-6506/TEL:096-353-5480

尚、電話、FAX、メール等の方法で、回答いたします。
回答先及び回答方法は以下の通りです。

- ・ご希望回答方法(電話・FAX・メール・郵便)
- ・住所等
- ・会社名
- ・担当者名
- ・電話番号
- ・FAX番号
- ・メールアドレス
- ・メルマガ配信希望(メールアドレス)



いろいろなお知らせ

◆ 当センター及び機構本部からのお知らせ

1. 「令和2年度 熊本における労働衛生の現状」を掲載しました。
<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200904141940.html>
2. 令和2年度両立支援コーディネーター基礎研修のご案内

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度の集合形式での研修は中止し、オンライン形式での研修を開催いたします。

なお、研修日程等の詳細につきましては、以下のアドレスからご確認いただけますようよろしくお願いいたします。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200902083425.html>

3. 地域産業保健センターのご案内（全て無料です）

<https://kumamotos.johas.go.jp/chiiiki.htm>

- ・阿蘇地域産業保健センター
Tel 0967-34-1177 Fax 0967-34-1619
- ・有明地域産業保健センター
Tel 0968-72-3050 Fax 0968-72-3930
- ・天草地域産業保健センター
Tel 0969-25-1236 Fax 0969-24-4126
- ・菊池鹿本地域産業保健センター
Tel 0968-23-1210 Fax 0968-23-1211
- ・熊本地域産業保健センター
Tel 096-366-2711 Fax 096-366-2750
- ・人吉球磨地域産業保健センター
Tel 0966-22-3059 Fax 0966-22-3059
- ・八代水俣地域産業保健センター
Tel 0965-39-9531 Fax 0965-39-9532

4. 令和2年度産業保健関係助成金について

職場における労働者の健康管理等のために、ぜひご活用ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200601115852.html>

- ・治療と仕事の両立支援助成金（環境整備コース・制度活用コース）
- ・「ストレスチェック」実施促進のための助成金
- ・心の健康づくり計画助成金
- ・小規模事業場産業医活動助成金
（産業医コース・保健師コース・直接健康相談環境整備コース）
- ・職場環境改善計画助成金（事業場コース・建設現場コース）
- ・副業・兼業労働者の健康診断助成金

5. 動画教材「職場における新型コロナウイルス感染症予防対策を推進するためのポイント」を作成しました

独立行政法人労働者健康安全機構では、「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」を公表した一般社団法人日本渡航医学会及び公益社団法人日本産業衛生学会の協力を得て、職場における新型コロナウイルス感染症予防対策を進める上でのポイントを解説する動画教材を制作しました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200618150134.html>

6. 衛生委員会活性化テキストを作成しました

労働者健康安全機構では、このたび衛生委員会活性化テキストを作成しました。

事業場において、衛生委員会を運営するうえでぜひご活用ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200715084144.html>

7. 特殊健康診断実施機関一覧を更新しました

令和2年6月末現在の熊本県内における特殊健康診断実施機関をとりまとめましたので掲載いたします。
状況によっては対応できない場合がございますので、各窓口でご確認ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200730085920.html>

8. 新型コロナウイルス感染症に関する情報

※情報は随時更新されております。最新の情報をご確認ください。

<https://kumamotos.johas.go.jp/useful.shtml>

◆ 大雨災害による被災地での健康を守るために

今回の令和2年7月豪雨により、広範囲に及ぶ地域で河川氾濫、浸水被害が発生し、多くの尊い命が失われました。被災地での避難所等における生活、災害復旧活動が長期に及ぶことにより、様々な健康への影響が懸念され、心と体の健康を守るための対策が重要です。

被災された労働者やそのご家族が健康に過ごしていただくため、大切なことをまとめました。事業場にも、これらのことを知っていただき、ご配慮いただくようお願いいたします。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200714111157.html>

1. 「令和2年7月豪雨被災者のための心の相談ダイヤル」及び「令和2年7月豪雨被災者のための健康相談ダイヤル」を設置しました。

被災された住民の方（事業者、労働者及びその家族等）からのメンタルヘルスに関する相談及び健康に関する相談に応じるため、「令和2年7月豪雨被災者のための心の相談ダイヤル」及び「令和2年7月豪雨被災者のための健康相談ダイヤル」を設置しました。

この相談ダイヤルでは、被災された住民の方のメンタルヘルスに関する相談及び健康不安に関する相談などに対応します。

● 「令和2年7月豪雨被災者のための心の健康ダイヤル」

- ・フリーダイヤル 0120-200-826
全国どこからでも、携帯電話やPHSからも無料で利用可能
- ・受付日時 平日（10時00分～17時00分／土日祝日を除く）
- ・対象者 被災された住民の方（事業者、労働者及びその家族等）
相談例：強いストレスや不安について

● 「令和2年7月豪雨被災者のための健康相談ダイヤル」

- ・フリーダイヤル 0120-730-230
全国どこからでも、携帯電話やPHSからも無料で利用可能
- ・受付日時 月・水（13時00分～17時00分／祝日を除く）
- ・対象者 被災された住民の方（事業者、労働者及びその家族等）
相談例：健康管理や感染対策などの健康不安について

当センターにおいても、産業保健に関する様々な問題について、専門スタッフが、センターの窓口（予約）、電話、電子メール等で相談に応じ、解決方法を助言しています。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200729162915.html>



産業保健のトピック！ 産業医・産業看護職の皆様へ

～「定期健康診断結果報告書」や「ストレスチェック報告書」の
産業医の押印が不要に～

今まで産業保健の現場では、健康診断の結果については法令等に定められた様式で個人票を作成し保存が義務付けされており、また、この様式には健康診断の実施および意見聴取に伴う産業医の押印が必要でした。また、電磁的記録により保存する場合は、押印に代わり電子署名を行うこととされていました。電子証明が取れない場合は、ハンコを押した紙をさらにPDF化するなど、電子化とはかなり程遠いものでした。現場では随分とこの作業に時間が割かれてきました。

ここにきて2020年8月28日、厚生労働省より、労働安全衛生規則やじん肺法施行規則などの一部改正が施行されました。

改正内容は以下のとおりです。

- ・ 「健康診断個人票」などについて、「医師・歯科医師の押印、電子署名」を不要とする
- ・ 「定期健康診断結果報告書」「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」などについて「産業医の押印、電子署名」を不要とするというものです。

やっとハンコ作業から解放されることになりそうです。しかし、「産業医の押印が不要になった」だけで、事業者の安全配慮義務等の責務までも軽減されたわけでないことは留意が必要です。



労災疾病等医学研究普及サイトについて

「アスベスト（平成21年～平成25年）」について

アスベスト（石綿）関連疾患として労災認定される数は、近年、毎年1,000件前後となっておりますが、その中には他の疾患との鑑別が困難なものや診断方法が特殊であるものがあり、申請から労災認定までに時間がかかるものも少なくありません。

こうした診断方法が難しいアスベスト関連疾患について明確かつ簡易な診断方法・指標を確立し、より適切な治療・予防法に役立てることを目的として、長年アスベスト関連疾患の診断等について研究を行っています。

例えば第2期（平成21年～平成25年）の研究では、診断時にはすでに進行してしまっていることが多く、他のアスベスト関連疾患との鑑別も困難な胸膜中皮腫について、新たな診断基準の確立を目指しました。胸膜中皮腫症例を全国から集め、そこから胸水に関するデータを抽出した結果、胸水中のヒアルロン酸の値などが、胸膜中皮腫の診断材料として実用性が高いことを明らかにしました。

第2期のアスベスト研究については、こちらからご覧いただけます。
→https://www.research.johas.go.jp/22_asbesto/

アスベストについては、現在も新しい研究を行っております。
平成30年度からは、明確な労災認定基準がない良性石綿胸水について、症例を集め、新たな認定基準の確立を目指しているほか、石綿肺がん患者の肺内にみられ、測定が困難な石綿繊維について、より迅速で適正な測定をするにはどうしたらよいかを研究しています。

現在のアスベスト研究については、こちらからご覧いただけます。
→<https://www.research.johas.go.jp/asbesto2018/index.html>

- ・第1期
石綿肺がん、中皮腫及び良性石綿胸水について全国の症例を集め、職歴などの情報と併せて検討したほか、分子生物学の観点から石綿肺がん及び中皮腫の早期診断法の確立について研究しました。
- ・第2期
胸膜中皮腫を中心としたアスベスト関連疾患の早期診断・予防法を確立するため、全国的に症例を集めて化学療法を検討しました。また、石綿関連疾患の症例及び石綿健康管理手帳の交付を受けている人々の情報を集め、その実態を調査しました。
- ・第3期
臨床的な観点から診断されることが多い石綿肺について、病理学的観点から研究したほか、胸膜中皮腫例の初診時のCT画像所見について検討し、胸膜中皮腫のより適切な診断方法を探りました。また、前期に引き続き石綿健康管理手帳の交付を受けている人々の情報を集め、石綿関連疾患発症の現状を調査しました。

第1期から第3期のアスベスト研究報告については、こちらからご覧いただけます。
→<https://www.research.johas.go.jp/booklet/report.html>

「医療従事者の安全（平成30年開始研究）」について

抗がん剤は、がん細胞に対して効果を発現する一方で、正常な細胞にもその作用機序から少なからず影響をもたらすものが多くあります。抗がん剤の調製時などに発生する曝露によって、医療従事者が健康被害を受けるリスク（職業性曝露）については、日本国内外ともに多数の報告がなされています。近年、我が国でも抗がん剤の取扱いに関する各種ガイドラインが策定され、各医療機関において手順書が策定及び運用されているところですが、その妥当性の評価等についてはエビデンスがなく、十分になされているとは言えません。

そこで、医療従事者の職業性曝露ゼロを目指し、国内の多施設における抗がん剤調製の手順について、その工程ごとに飛散の発生する原因・メカニズムを究明するとともに、職業性曝露を発生させない手順を検討し、標準手順書として広く情報発信していくことを目的として、平成30年7月から本研究を開始しました。

本研究の詳細については、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

→<https://www.research.johas.go.jp/anzen2018/index.html>

「生活習慣病」テーマ（平成30年度開始）について

勤労者の過労やストレスが、高血圧などの「生活習慣病」の悪化に影響していると言われていています。勤労者の過労やストレスと、高血圧等「生活習慣病」発症との因果関係を明らかにすることによって、働く人々の健康を守ることに繋がります。

現在、「生活習慣病」テーマでは5つの研究を行っていますが、そのうち、「1. 地域社会における社会的ストレス及び社会関係資本と生活習慣病との関連に関する研究」についてご紹介します。

これまでの疫学研究では、独居や経済的苦境等の「社会的ストレス」が、生活習慣病の悪化、心不全増悪や冠動脈疾患の発症のリスク因子であることが示されています。

一方、近年の地域社会を考える上では、「社会関係資本 (Social capital)」が重要です。これは、「地域の絆」や「ご近所の底力」等と呼ばれるような他の人に対して抱く「信頼」や、人々との絆である「ネットワーク」を指す言葉です。

過去に行われた研究では、社会関係資本が豊かな地域では死亡率や精神病の有病率、犯罪率が低く、社会関係資本が低い地域の高齢者では要介護になる割合が多いという報告があります。

この研究では、全国労災病院のネットワークを活用して、各地域の社会関係資本や個々の症例の社会的ストレス・精神的ストレスと生活習慣病との関連を明らかにし、生活習慣病の地域の実情に即した医療 (Area-Based Medicine) の確立を目指します。

詳しい研究内容は、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

<http://www.research.johas.go.jp/seikatsu2018/>

「脳・心臓疾患」について

脳梗塞などの「脳血管疾患」と、心筋梗塞などの「心疾患」について、これらの疾患が仕事を主な原因として発症した場合、「過労死」と呼ばれます。当機構では、第2期労災疾病等医学研究において、過重労働による脳・心臓疾患を防止するための研究を平成21年度から平成25年度まで行いました。

この研究では、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県亶理町住民のコホート調査を行いました。

その結果、微量アルブミン尿の検出された人は、検出されていない人よりも心血管疾患発症リスクが約2.3倍も高いことがわかりました。よって、日本人の一般住民において、微量アルブミン尿が脳・心血管イベントを予測できる可能性が示されました。

また、様々な職種が混在する地域職域集団において、量的、質的職業ストレスが健康障害リスクとなるか否かを調査した結果、長時間労働は「肥満」と「うつ」のリスクとなり、能力を十分に発揮できない仕事を行う技能の低活用は「高血圧」と「うつ」のリスクとなる可能性が示されました。

研究の詳細については、こちらのサイトをご覧ください。

→ https://www.research.johas.go.jp/22_nou/

【厚生労働省】

1. 「金属アーク溶接等作業を継続して行う屋内作業場に係る溶接ヒュームの濃度の測定の方法等」を告示

～溶接ヒュームの濃度の測定、呼吸用保護具の仕様などについて規定～

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200804091034.html>

2. 令和2年度自殺予防週間について

自殺対策基本法第7条第2項において、9月10日から9月16日を自殺予防週間と位置付けられています。今般、関係省庁、地方自治体、関係団体における相談事業及び啓発活動等の取組について、とりまとめられました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200806165453.html>

3. 令和2年度「『見える』安全活動コンクール」の実施等について

～「見える」安全活動の創意工夫事例を募集（8月3日～9月30日）～

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200814100512.html>

4. 第132回労働政策審議会安全衛生分科会（資料）が掲載されました

「副業・兼業を行う場合の健康確保措置について」検討されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200824120439.html>

5. 「職場の健康診断実施強化月間」の実施について

本年度の強化月間については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた労働安全衛生法等に基づく健康診断の実施等に係る対応も踏まえて、実施されます。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200827144351.html>

6. 「副業・兼業の促進に関するガイドライン」が改訂されました

～副業・兼業の場合における労働時間管理等についてルールを明確化～

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200901163205.html>

7. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえた全国労働衛生週間の対応について

令和2年度全国労働衛生週間の実施に当たっては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止についても十分留意することが必要です。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200902142355.html>

8. 「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」パンフレット
(4ページ版)が掲載されました

厚生労働省ホームページに「高年齢労働者の安全と健康確保のための
ガイドライン」パンフレット(4ページ版)が掲載されました。

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200908114646.html>

9. じん肺法施行規則等の一部を改正する省令の施行について

～医師等による押印、署名及び電子署名が不要になります～

<https://kumamotos.johas.go.jp/contents/news/20200908152724.html>

=====

●次回の第160号は令和2年9月18日頃に配信予定です。

編集内容等に関するご意見・お問合せなどをお寄せください。
またメールアドレスの変更の場合は件名に[メルマガアドレス変更希望]、
配信停止希望の場合は、[メルマガ配信停止希望]等ご記入の上
ksanpo43@kumamotos.johas.go.jpへお願いします。

独立行政法人 労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター
〒860-0806 熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階
TEL:096-353-5480 FAX:096-359-6506
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/>
E-Mail:ksanpo43@kumamotos.johas.go.jp
